

『ナーシングエイド研修』

研修会実施報告

日時 : ①令和4年6月14日(火) 13:15~17:15

: ②令和4年6月28日(火) 13:15~17:15

対象者 : 看護補助者

参加者数 : ①19名 ②17名

目標 : 医療・看護チームにおける看護補助者のあり方を理解することができる

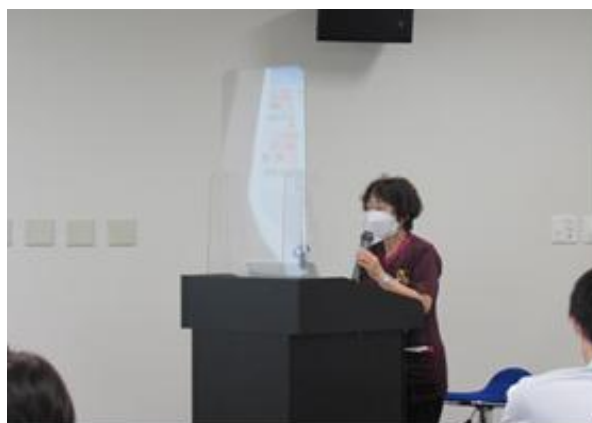
<講師の紹介>

副看護局長

感染管理認定看護師

皮膚・排泄ケア特定認定看護師

医療安全対策管理者



<内容>



今年より、「看護補助体制充実加算」が新設され、看護職員および看護補助者の業務分担の協働が推進されました。

今回、介護福祉士、ナーシングエイドを対象として、医療制度の概要及び病院の機能と組織について、医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務と遂行するための基礎的な知識・技術、日常生活にかかわる業務や守秘義務・個人情報の保護、看護補助業務における医療安全と感染防止について教えて頂きました。

日常生活の援助では、実際にオムツを着用し座位や立位になり違和感や不快感を体感することができ「オムツ交換の時は、患者さんの気持ちになって交換する」といった患者さんに寄り添ったケアをしたなどの意見がありました。看護補助者の質の向上に向けて多職種と協働し、医療従事者としての役割を理解しながら、活躍して頂きたいと思えます。